

SPTA 臨床整理・共有メモ

正式な検査の結果と、解釈に必要な情報 / 公式評価用紙ではありません

正規のSPTAで得た結果と、追加観察・生活場面の情報を分けて記録する補助資料です。本紙のみで実施・採点はできません。採点は正規マニュアルに従ってください。

氏名・ID：_____ 日時：_____ 評価者：_____

01 本人・家族が困っている具体的な動作

どの場面で／どの工程で／何が起こるか／病前の経験・本人の希望

02 結果を読むための条件

使用手・利き手／麻痺・感覚・痛み／視覚／理解・聴力／注意・覚醒・疲労

検査の版・実施範囲／未実施・中断と理由／標準条件から変更したこと

03 正式検査で観察した反応

項目・実施側・提示条件／手の形・方向・順序／開始・停止・自己修正／原票の参照箇所

04 解釈と、まだ確認が必要なこと

保たれた動作／難しい条件／麻痺・感覚・理解・注意などの影響／追加評価の目的

SPTA 臨床整理・共有メモ

追加観察と生活への支援 / 正式な成績へ混ぜずに記録します

01 手がかりを変えたときの反応

追加した条件・具体的な支援	本人の反応・必要な介助・残った困難
短い言葉／見本	
実物／なじみの道具	
物の数・配置／工程の分割	

実施順、反復回数、答えを示したかも記録します。複数の支援を同時に加えると、何が有効だったか分かりにくくなります。追加支援後の成功を正式採点へ加えません。

02 生活目標と支援の確認

生活場面・目標／試す支援／開始・途中・終了のどこに支援が必要か

成功の具体的な基準／自力でできた工程／安全性／別の場面での再確認日

03 申し送り前のチェック

- ☐ 動作の誤りと、麻痺・感覚・理解の影響を分けて検討した。
- ☐ 未実施・中断の理由を残し、採点上の扱いを正規資料で確認した。
- ☐ 口頭指示・模倣・実物などの条件を明記した。
- ☐ 補助なしの結果と、追加支援後の結果を分けた。
- ☐ 検査成績と生活での介助量を、それぞれ追跡する計画を立てた。

正規資料：日本高次脳機能学会 SPTA案内

参考：Dovern A, et al. Diagnosis and treatment of upper limb apraxia. J Neurol. 2012;259:1269-1283.

[doi:10.1007/s00415-011-6336-y](https://doi.org/10.1007/s00415-011-6336-y)

本紙は独自の臨床共有メモで、公式採点票や標準化された尺度ではありません。学会・検査開発者による監修や承認を意味しません。